

平成30年度事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

はじめに～平成30年度基本方針

平成29年度は、前年度に取り組んだ「市民ファンド推進助成プログラム」(助成元：市民社会創造ファンド)の助成金を受けて新規に開発した寄付プログラムを継続・定着させながら、ファンドレイジング力の基盤強化につとめてきました。

10月に神戸新聞事業社と連携して、「カンパイ KOBE」にブース出展するかたちで、チ第2回チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」を開催しました。また、12月には、第2回チャリティ・パーティー「寄付がつなげるひと、育てるまち～Tanimatching2017」を開催しました。

また、4月から寄付つき商品の第2弾としてウェスティン淡路ホテルと提携してオリジナルマスコット「ラスティン」商品の販売を始めることができました。

同じく4月から神戸市と協働して、市民活動応援サイト「つなごう神戸」の運営を始めました。

一方、平成29年度助成事業では、今回も「次代の市民活動の担い手育成を重視する」と「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、10月に開催した公開審査会の結果、7団体(一般枠；5団体、特定枠；2団体)の各事業に合計2,379,000円(一般枠；1,882,000円、特定枠；497,000円)の助成金を交付しました。

また、「黒田裕子賞」を創設し、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年1回表彰することになり、第1回目の受賞者として市川(関本)英恵氏に贈呈致しました。

2018(平成30)年度は、「チャリティタウンKOBE」と「おたがいさま基金」という2本柱を立てながら、事業メニューの充実化と伝える力をつけていくことでファンドレイジング力の強化をさらに図っていきます。来る2019年度には当基金も創設20周年を迎え、これまでも増して市民や企業市民等の支援者と社会的な課題解決に役割を果たしている市民活動団体を育みつつ繋げていく役割を担ってまいり所存でございます。

この平成30年度基本方針を受けて、下記のと通りの事業を計画することとします。

1 助成事業

ア) 平成30年度しみん基金・KOBE助成事業 →担当理事：瀬戸口

- ① 助成方針 A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
- ② 助成金額 → 総額 250万円 (+特別賞10万円)
 - ・一般枠には、総額200万円を充てる。1事業について事業費総額の4分の3以内かつ上限は50万円。
 - ・特定枠には 総額50万円を充てる。1事業について事業費総額の4分の3以内かつ上限は25万円。対象は「東日本大震災や熊本地震などの大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動」とする。
- ③ 助成事業対象期間：1年間(2018年10月1日～2019年9月30日)

- ④ 審査員 再任 津久井 進 弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 =審査員長
 再任 森崎 清登 近畿タクシー株式会社
 再任 相川 康子 (特活)NPO 政策研究所
 再任 河口 紅 (特活)さんびいす
 再任 觜本 郁 (特活)神戸の冬を支える会
 再任 山田 剛司 社会福祉法人えんぴつの家
 再任 佐竹 義弘 毎日新聞神戸支局
 再任 辻 幸志 (特活)こうベユースネット
 再任 岡野 亜紀子 (公財)神戸市民文化振興財団
 再任 石田 祐 公立宮城大学
 再任 本荘 雄一 兵庫県立大学
 再任 藤本 真理 兵庫県立大学 (人と自然の博物館)

⑤スケジュール

- 5～6月：審査員・審査員長の選任・就任承諾、応募要項の作成
 7～8月：理事・審査員合同会議、広報告知・応募申請受付、個別相談会（～受付締切1週間前）
 9月：受付検査・書類審査
 9～10月：ヒアリング調査
 10月：公開審査会、
 11月：覚書締結・助成金交付
 ※助成金 25万円（ボランタリープラザ基金・中間助成基本）

⑥前年度助成先団体への取り組み

- ・助成先団体活動レポートの実施
- ・10月末までに、事業成果報告書回収
- ・12月助成事業成果報告会の開催

1) 平成30年度表彰事業

① しみん基金 KOBE 特別賞

当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し、公開審査会にてプレゼンテーションして頂いた団体の中から1団体を理事会で選考。賞金 5万円。

② 黒田裕子賞

当基金初代理事長であった黒田裕子の意思を引き継ぎその実績や功績に見合った活動や優れたリーダーシップを発揮された団体もしくは個人に対し、書類選考時の理事会にて選考。賞金 5万円。

2 寄付・募金活動

ア) 寄付受入

- ① 直接寄付 敬愛まちづくり財団：100万円、他個別訪問営業の実施 目標：116万円

イ) イベント募金

- ① こうべあい・ウォーク2019（協働） ※神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション。協賛予定：近畿ろうきん。2019年1月上旬開催予定。→担当理事：野崎。目標 15万円。
 ② チャリティ・パーティー「寄付がつなげるひと育てるまち～Tanimatching」（協働）
 ※CS神戸、はんしん高齢者くらしの相談室。→担当理事：戎。目標：65万円
 ③ 新企画のイベント募金の開拓

り) 職域募金

- ① あじさい基金（協働） ※神戸市職員有志（一口¥200/月 40名） 目標：25万円
- ② 新規職域募金の開拓

え) 協働企画寄付システム

- ① 寄付つき商品
 - 1) ボックサン・寄付つきクッキー ※担当理事：福原 目標：20万円
 - 2) ウェスティンホテル淡路・ラスティン商品 ※担当理事：藤井 目標：10万円
 - 3) フルハウス・耐震補強金具パワープレート※担当理事：●● 目標：100万円
 - 4) 新規寄附つき商品の開拓（近畿タクシー等）
- ② おたがいさま基金 目標：1万円
 - 1) 「まけないぞう」 ※被災地 NGO 協働センター
 - 2) 「未来の社会を考える仲間たち」 ※バレンタインチーム
 - 3) 他の助成先団体等への呼びかけ
- ③ 古着チャリティ（協働） ※オレンジスリフティ 目標：20万円
 - ・クリーニング店との提携拡大 と古着回収店舗開拓の検討
 - ・アースデイ神戸で出展、他イベントでの事業紹介
- ④ 古本キフ（協働） ※ブックオフ 目標：1万円
- ⑤ Yahoo ネット募金（協働） ※Yahoo 目標：3万円
- ⑥ 買取寄付プログラム「カイトリ」（協働） ※(株)スクーナ 目標：1万円
- ⑦ モノキフ（協働）※（一社）ウルノス 目標：1万円
- ⑧ ろうきん NPO 寄付システム（協働） ※近畿労働金庫 目標：1万円
- ⑨ 募金箱（自販機募金を含む）設置提携先の開拓 12か所×5千円 目標：6万円

わ) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行（年3回）
- ② メルマガの発行（年6回） →イベントのお知らせ、助成先団体活動レポートの掲載
- ③ HP、ブログやFBの更新など SNS の活用（週1回以上発信）
- ④ パンフレット改訂
- ⑤ ポスター制作（古着チャリティ事業用、寄附つき商品用等）
- ⑥ 検索サイト広告（google adwords）
- ⑦ データベースの整備
- ※ 助成金 25万円（ボランティアプラザ基金・中間助成基本）

3 中間支援事業

ア) 「つなごう神戸」運営事業

- ・補助事業収益金額：50万円
- ・「つなごう神戸」運営協議会の開催
- ・「つなごう神戸」への情報収集、並びに問い合わせ対応
- ・団体・市民間のネットワークングや、ニーズとシーズのマッチングに関するコーディネート
- ・「つなごう神戸」の普及・啓発
- ・協賛企業・団体等の募集・継続依頼 目標：30万円

イ) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業

- ・助成金：50万円（ボランティアプラザ基金・地域づくり助成）
- ・基本コース（4団体）＋フォローアップコース（4団体）
- ・事業収益見込：8万円

り) NPO 支援活動

- ①アドバイザー派遣事業（協働） → 担当理事：野崎
 - ・神戸市委託、神戸まちづくり研究所との協働
 - ・個別団体訪問アドバイス：5～3月、1団体程度、
 - ・NPO ステップアップ講座・報告会等の企画・実施
 - ・事業収益見込：20万円
- ②「神戸助け合い広場（フォーラム）」研究会（協働） ※CS 神戸、はんしん高齢者くらしの相談室
- ③日本ファンドレイジング協会関西チャプター・事務受託 ※事業収益見込：10万円
- ④ネットワーク活動
 - ・ひょうご中間支援 NPO ネットワーク
 - ・神戸市協働と参画のプラットフォーム
（中間支援 NPO と行政の意見交換会、ソーシャルブリッジ、地域コミュニティ支援者会議）
 - ・関西財団の集い
 - ★その他イベントへの共催やネットワーク等の活動への参画（必要に応じて随時）
- ⑤講師依頼、個別マネジメント相談等（随時）
 - ・兵庫県共同募金会・配分委員会

エ) はあ〜とふるふあんど支援事業の受託 →担当理事：瀬戸口

- ・委託元：はあ〜とふるふあんど委員会（兵庫県遊戯業協同組合、神戸新聞社グループ）
- ・支援総額：1,500万円予定（ボランティアあしすと部門&ふるさと地域振興サポート部門）
- ・事業収益予定：70万円
- ・スケジュール
 - 5月：今年度支援団体の決定
 - 6月：今年度贈呈式
 - 7月：前年度最終報告書回収
 - 11～12月：次年度分応募要項の作成、新年度受託契約締結
 - 1～3月：広告知・応募申請・受付相談
 - 3月：受付検査、1次審査

カ) 神戸新聞事業社との連携による防災啓発イベント事業 →担当理事：●●

- ・「カンパイ KOBE」と併催の形で「非常食を日常に。ローリングストック in 兵庫」開催（8/4）
- ・企業協賛募集
- ・賞味期限切れ前の家庭で眠っている非常食を新しい非常食との交換
- ・持参された非常食はフードバンク関西を通じて、こども食堂等へ提供
- ・非常食を活用した料理の提供

4 運営・管理

ア) 組織管理

- ・理事会メンバーと役割分担の検討
- ・正会員・賛助会員の増強
- ・定款の変更、規程（経理、助成）類の整備
- ・会計

イ) スタッフ

- ・スタッフ役割分担の明確化
- ・ボランティアの募集・活用、ボランティア保険加入

ウ) 企画検討

- ・遺贈寄付受入のしくみ化の検討
- ・法人設立 20 周年記念企画の検討
- ・空き家情報活用の検討
- ・休眠預金等活用についての検討
- ・「チャリティタウン KOBE」 & 「おたがいさま基金」の推進

エ) 会議

- ・総会（5月）
- ・理事会（5月、9月、10月、2月）
- ・四役運営会議（随時）

★その他、当基金の目的に関連する活動（随時）

★平成 30 年度 しみん基金・KOBÉ 年間活動スケジュール表

| 月 | 助成事業 | 寄付・募金/情報発信 | NPO 支援 | 運営・管理 |
|------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 4 月 | 助成先団体活動レポート (随時、年 6 回) | メルマガ発信 HP・SNS 発信 (随時) | HF 予備審査 「つなごう神戸」 運営・協賛募集 | 決算業務 四役運営会議 (23 日) |
| 5 月 | 審査員就任承諾 助成申請 (中間基本) | イベント出展 (随時) メルマガ発信 助成申請 (中間企画) | HF 本審査・結果通知 助成申請 (講座) TG 運営協議会 | 会計監査 (1 日) 理事会 (9 日) 定時総会 (28 日) |
| 6 月 | 応募要項作成 | | HF 贈呈式 助成申請 (啓発) | 事業報告・認定報告 |
| 7 月 | 理事・審査員合同会議 (18 日) 応募申請受付 個別相談会 (~8 月) | メルマガ発信 NL 発行 | HF29 年度報告書回収 講座・企画 | 会費納入依頼 |
| 8 月 | | チャリティパーティ 「市民活動団体」公募 | 防災啓発イベント 講座・受講団体募集 | |
| 9 月 | 受付検査 書類選考 (18 日) ヒアリング調査 | チャリティパーティ 「市民活動団体」選考 | 講座・受講団体選考・事前ヒアリング | 理事会 (18 日) |
| 10 月 | H29 年度分報告書回収 公開審査会 (23 日) | メルマガ発信 チャリティパーティ 広報 | TG 運営協議会 講座事業 (~2 月) | 理事会 (23 日) |
| 11 月 | 覚書締結・助成金交付 | メルマガ発信 ポスター制作 | HF 31 年度応募要項の 検討 | |
| 12 月 | H29 年度助成事業成果 報告会 (5 日) | NL 発行 | HF 委託契約 | |
| 1 月 | | こうべあいウォーク メルマガ発信 チャリティパーティ | HF31 年度応募申請受 付 (~3 月) | |
| 2 月 | | | | 理事会 |
| 3 月 | | NL 発行 | HF 受付検査 HF 審査資料作成 TG 運営協議会 | 事業報告・計画書作成 |

※HF=はあ〜とふるふあんど支援事業の略。NL=ニュースレターの略、TG=「つなごう神戸」の略